

平成30年7月の研究助成公募情報

2018/7/16

HP掲載日	学内締切	募集期間	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
2018/7/16	2018/10/17	2018/7/2~10/31	電子申請 web	博報財団 2019年度第14回児童教育実践についての研究助成	公益財団法人博報児童教育振興会 研究助成事業担当 TEL 03-5570-5008 FAX 03-5570-5016 https://www.hakuhofoundation.or.jp	「ことばの教育」に関する研究 ・国語・日本語教育の諸分野における研究 ・あらゆる学びの場におけることばの教育に関する研究 児童教育実践の質を向上させる研究 ・多様な場における教育実践の質を向上させる研究 ※児童教育への反映が期待できる、日本語研究や幼児・高等学校教育に関する研究も対象とします。	日本の大学・研究機関に所属する研究者 (例えば准教授、講師、助教、博士課程の院生等。 若手支援のため、教授やそれに相当する職は除く。) ・日本の学校・教育委員会に所属する教育実践に携わる方 (例えば教諭、指導主事、相談員、特別支援教育の支援員等。) ※応募に際しては、所属長あるいは指導教官からの推薦が必要です。 ※常勤・非常勤、年齢、国籍、学位は不問(ただし、学生の場合は修士号取得以上とする)。	1件につき300万円を限度に助成します。	・応募の翌年4月1日～翌々年3月31日の1年間 ・助成期間終了後、研究(代表)者が希望する場合は、継続助成の申請をすることができます。 ※今後の研究計画書と提出された「研究成果報告書」を審査して採否を決定します。
2018/7/16	2018/10/5	2018/9/1~10/19	書類申請	公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団 2018年度(平成30年度)学術研究助成	(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団 TEL 047-323-5580 FAX 047-323-6400 Email info@iijima-kinenzaidan.or.jp http://www.iijima-kinenzaidan.or.jp 7月中旬以降にアップ予定	米麦その他の主要食糧等を原料とする食品に関して次の①～③に掲げる分野に係る食品科学等の研究で、別紙に示す研究の分類項目のいずれかに該当すること。 ①生産・加工・流通に関する基礎的研究 ②製造技術及び品質保持技術の開発に関する研究 ③安全・衛生、栄養・機能等に関する研究	日本国内の国公私立大学、公的研究機関において食品化学、栄養学、食品機能学、食品工学、食品衛生学、調理科学等の研究を行う ①個人研究助成 主として若手研究者(准教授、講師、助教など)による単独研究を対象 ②共同研究助成 研究領域及び研究機関(大学、学部、大学院研究科及び研究所等)を異にする複数の研究者が、同一テーマに関し広範に共同研究する場合を対象。代表研究者は教授級の研究者とし、代表研究者と研究機関の異なる研究者が一人以上加わることとする。個人研究助成申請者及び企業の研究者を共同研究者とすることは出来ない。	①個人研究助成 1件当たり100万～250万、40件内外 ②共同研究助成 代表研究者は100万円以上、代表研究者と研究機関の異なる100万円以上の研究者が一人以上加わること。1件当たり200万～500万、8件内外	1カ年 2019/4～2020/3
2018/7/16	2018/7/24	2018/6/26~8/7 12:00	電子申請 e-Rad	農林水産省 平成30年度農林水産政策科学研究委託事業研究課題の公募	農林水産省農林水産政策科学研究委託事業推進事務局 TEL 03-6737-9091 FAX 03-6737-9098 http://www.maff.go.jp/primaff/kadai/hvoka/itaku/2018/bosyu.html	募集する研究テーマ 以下の三つの研究テーマに即したもので、具体的な研究課題の提案を募集します。 1.農業・食品関連のグローバル企業の活動実態及び国内関連産業の対応方向の分析に関する研究 2.世界の有機食品市場の動向を踏まえた我が国の有機食品市場の見通しに関する研究 3.「日本型持続可能な開発目標(SDGs)モデル」の構築に資する農業分野における成長市場の創出やイノベーション推進に関する研究	① 応募できる者は、民間企業、技術研究組合、公益又は一般法人、独立行政法人、大学、地方公共団体、NPO法人、協同組合等の法人格を有する研究機関(※1)(以下「研究機関等」という。)、又はこれらの2以上の研究機関等から構成されるグループ(以下「共同研究グループ」という。)です。 ② 共同研究グループの場合は、国との委託契約における受託者として一切の契約責任を有し研究推進の中核となる機関(以下「中核機関」という。)を定め、中核機関が応募することになります。また、中核機関は、研究の効率的な推進を図る観点から、中核機関以外の研究機関(以下「共同機関」という。)との役割分担を明確にするとともに、参画機関が過度に多くならないよう配慮してください。	1課題・単年度当たりの研究費(間接経費を含む)は、原則として7～10百万円程度とし、予算額の範囲内で決定します。研究機関等は、国からの委託費として、直接経費、間接経費及び研究調査委託費を計上できます。	なお、研究の実施期間(予定)は、3年とします。
2018/7/16	2018/8/20	2018/7/1~8/31 消印有効	書類申請 または 電子申請	公益財団法人韓昌祐・哲文化財団 2018年度助成	公益財団法人韓昌祐・哲文化財団事務局 TEL 03-5221-7973 Email info@hanchangwoo-tetsu.or.jp http://www.hanchangwoo-tetsu.or.jp/	日韓に関わる文化・芸術・歴史・社会・スポーツ・国際交流が対象となります。	原則として「日韓を生活・活動の拠点とする者」で、国籍は問いません。	年間予算は1,500万円上限です。個人・団体問わず、1件の助成金の範囲は20万円～200万円です。	1年あるいは最大2年で成果を出す活動・研究に助成します。2019年3月に助成証書授与式が開かれ、助成金が支給されます。
2018/7/16	2018/8/6	2018/8/24	書類申請 または 電子申請	朝日新聞社 朝日新聞文化財団 「朝日賞」候補者推薦のお願い	朝日新聞社CSR推進部「朝日賞」事務局 TEL 03-5540-7453 FAX 03-3541-8999 http://www.asahi.com/shimbun/award/asahi/	沿革 1929年(昭和4年)に朝日新聞創刊50周年記念事業として創設しました。一時、文化、福祉、体育の3部門に分かれていたが1975年度に「朝日賞」を総合賞とし、「朝日社会福祉賞」、「朝日体育賞」(現在のスポーツ賞)を独立させました。1992年(平成4年)に朝日新聞文化財団が授賞事業を引き継ぎました。受賞者のなかから後年、ノーベル賞や文化勲章を受けた方も多く出ています。第1回以来の受賞者は合わせて466人と28団体になります。(2017年度現在)	対象学術、芸術などの分野で傑出した業績をあげ、わが国の文化、社会の発展、向上に多大の貢献をされた個人または団体に贈ります。	毎年、1月1日の朝日新聞朝刊で発表します。1月下旬に贈呈式を行い、正賞のブロンズ像と副賞1件500万円を贈ります。	原則として年度賞とし、毎年1月から12月までの業績を対象とします。長年にわたる業績に対してお贈りするもあります。
2018/6/28	2018/9/21	2018/7/2~10/5	電子申請 Email	一般財団法人学生サポートセンター 平成30年度(第16回)学生ビジネスプランコンテスト	一般財団法人学生サポートセンター TEL 03-5766-8207 FAX 03-5766-8208 Email info@gakusei-sc.or.jp http://www.gakusei-sc.or.jp	目的: 当財団の主要事業の一つである「学生の創造性涵養助成事業」として学生らしい自由な発想で創造性や意欲に溢れ、自分で考え自分で行動できる学生を一人でも多く育てることを目的とする。 課題: 特に設定しませんので、応募者が自由に発想して下さい。	日本の大学、大学院、短期大学、専門学校に在籍する学生。	交付する助成金: ① 最優秀賞: 30万円 ② 優秀賞: 20万円 ③ アイデア賞: 10万円 ④ 努力賞: 5万円 ⑤ 賞状: 10点以内	結果発表 平成30年12月中旬予定 表彰式 平成31年1月下旬を予定
2018/6/28	2018/8/31	2018/6/8~9/14	電子申請 Email	NEDO Technology Commercialization Program 2018	株式会社日本総合研究所 NEDO TCP事務局 Email info@nedo-tcp.jp TEL 03-6833-6575 http://nedo-tcp.jp/	NEDO Technology Commercialization Program(以下「TCP」という。)は、技術を基に起業して事業を大きく拡大させたいと考えている起業家、起業家予備群、起業意識のある研究者等を支援するためのプログラムです。TCPでは、以下1～3の機会を提供いたします。 1.技術シーズの事業化に必要な知識を提供する「教育プログラム」の提供 2.専門家によるビジネスプランの作成支援・メンタリング 3.ビジネスに結び付けるための大企業・ベンチャーキャピタル等へのビジネスプラン発表、ネットワーキング、マッチング 募集内容 経済産業省所管の産工業技術(例えば、ロボティクス、AI、エレクトロニクス、IoT、クリーンテクノロジー、素材、医療機器、ライフサイエンス、バイオテクノロジー技術、航空宇宙等、但し、原子力技術に係るものは除く。)を活用した商品、サービスに関するもの	応募要件 次に示す1～3に示された条件を全て満たす者とし、 1.公募開始時(平成30年6月8日)に起業していない個人、研究者又は研究チーム 2.具体的な技術シーズを活用し、それに基づく事業構想を有する起業家であって、我が国の経済活性化に寄与すると認められる応募内容であること 3.反社会的勢力又はそれに関わる者との関与が無いこと	TCPファイナリスト(二次審査通過者)への特典(10チーム程度を想定) ・最終審査会でのプレゼンテーション機会の提供 ・最終審査会でのポスター発表 ・NEDOインキュベーションセンター利用権 ・Hello Tomorrow GLOBAL SUMMIT(2019年3月パリ開催)参加の渡航費負担 優秀者への特典(3チーム程度を想定) ・NEDOが公募する研究開発型ベンチャー支援事業へのシード権(一次審査免除等) ・終了後もNEDOによる継続した起業支援 詳細は募集要項参照	提出期限 平成30年9月14日(金)17時00分 一次審査結果通知 平成30年10月4日(水) 集合研修 平成30年10月13日(土) 平成30年10月14日(日) ピッチコンテスト(二次審査) 平成30年12月19日(水) 平成30年12月20日(木) 最終審査会申請書提出期限 平成30年12月28日(金)17時00分 最終審査会 平成31年1月25日(金)

HP掲載日	学内締切	募集期間	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
2018/6/28	2018/8/20	2018/6/15～ 8/31 12時	電子申請 web登録、 書類作 成、Email 送信	株式会社日本総合 研究所  未来2019(ビジネ スピッチコンテスト)	株式会社日本総合研究所  TEL 03-6833-8767 Email 200010-mirai2019@ml.iri.co.jp <a href="http://mirai.ventures/">http://mirai.ventures/</a>	すべての産業・技術分野から応募を受け付けます  IoT/AI/テクノロジー ・ウェアラブルデバイス ・位置情報/その要素技術 ほか  IT融合/X-Tech ・リテールテック ・アグリテック/フードテック ほか  街/生活 ・レジリエンス(防災/減災等) ・シェアリングエコノミー(空き家活用等) ほか  メディカル/ヘルスケア/バイオ ・介護 ・創薬 ほか  クールジャパン/クリエイティブ ・クールジャパン ・食 ほか  その他 ・革新素材 ・先端診断技術/新規診断方法 ほか	下記のいずれかに当てはまる企業、チーム又は個人(会社設立の有無は問いません)  ・シード・アーリーステージにあるスタートアップ企業  ・企業における研究・新規事業のカーブアウトを考えている方、既にカーブアウトした方・企業  ・大学・研究機関等に在籍する研究員、大学院生、学部生であって、将来起業することを視野に入れている方	特典  1.専門家による「ビジネスプラン作成支援・メンタリング」 2.コンソーシアムメンバー等との「ネットワーキング・マッチング」 3.大企業やVC等に向けた日本最大級の「ピッチ・展示」 4.コンソーシアムメンバー等からの各種「企業賞」 5.事業化支援のための「グラント」(優秀チームのみ。1チーム 上限200万円を予定)	
2018/6/28	2018/9/14	2018年7月1日 ～9月30日(必 着)	電子申請 Email	一般財団法人ホ ユウ科学財団  2019年度研究助成	一般財団法人ホユウ科学財団事務局  TEL 0561-62-0539 FAX 0561-62-6294 Email hovu sf@hovu.co.jp <a href="http://www.hovu.co.jp/zaidan">http://www.hovu.co.jp/zaidan</a>	I. 毛髪科学に関する研究 例えば、毛髪に加齢変化(白髪、薄毛等)の発生メカニズムおよび予防、毛髪構造解析、毛髪物性評価等に関する研究など。  II. 皮膚科学に関する研究 例えば、皮膚の機能構造解析、加齢変化、皮膚のアレルギー等に関する研究、皮膚の物性測定・評価方法など  III. 薬理学に関する研究 例えば、「即時型・遅延型アレルギーおよび免疫」の基礎研究、またはそれらの予防および改善に関する研究、動物実験代替法に関する研究など  IV. 染色化学に関する研究 例えば、皮膚や毛髪に着色可能な新規直接染料や反応性染料に関する研究、染色メカニズムに関する研究など	助成対象 対象研究に従事する国内の国公立大学(含付属研究機関)または国公立研究機関に所属する研究者とします。応募は個人研究を対象とします。共同研究者がいても問題ありません。 また、1人1件を原則としますが、研究課題が異なる場合、複数申請を認めます。 但し、研究者に広く助成を行う方針から、すでに他の機関等から助成を受けている研究は助成対象にならない場合があります。	助成金額:1件 50万円または100万円(総額上限1000万円まで)	助成期間:2019年4月1日～2020年3月31日 (期間延長を申請し、承認されれば最長1年の延長が可能です。)
2018/6/28	2018/9/14	2018年7月2日 (月)～9月28 日(金)	電子申請 web	公益財団法人加藤 記念バイオサイ エンス振興財団  研究助成	公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団 事務局  TEL 042-725-2576 FAX 042-729-4009 Email zaidan@katokinen.or.jp <a href="http://www.katokinen.or.jp/">http://www.katokinen.or.jp/</a>	(1)「メディカルサイエンス分野」 医薬・医療への応用を念頭に行う基礎的研究(以下は例示) ・哺乳動物の個体、組織、細胞等を用いて生理・薬理・病理現象等を解析する研究 ・臨床応用を目指した基礎研究(医薬品候補の探索・生産研究は除く) ・病態の診断・治療技術の開発及びその基礎となる研究 ・臨床研究法第2条第1項に定義される臨床研究については、基礎科学への貢献に資するものに限る。(臨床研究に対する当財団の対応は「別紙」参照)  (2)「バイオテクノロジー分野」 生物材料や生物機能を利用し、物質生産、有用物質探索、汎用技術の開発・応用等を念頭に行う研究(以下は例示) ・微生物・植物・動物等の機能解析、またはそれらを利用して物質生産等に繋げようとする研究 ・有用物質・生体活性物質(医薬品候補含む)の探索、構造解析等に関する研究 ・食糧・環境・エネルギー等に関わる生物材料や生物機能等を利用した基礎的研究 ・タンパク質等の生体成分・ゲノム・遺伝情報等の解析・編集・応用及び関連技術の開発(インフォマティクス含む)	国内の大学(高等専門学校含む)又は公的研究機関に所属し、以下の条件を満たす研究者とする。 (1)年齢(9月末日) ・40才以下。ただし、以下の例外を認める。 ・博士号取得後10年以内であれば41才以上の応募も可。 ・応募時までに妊娠・出産・育児休業を取得した者については一律2年間、介護休業を取得した者についてはその休業期間、性別を問わず年齢制限を延長する。  (2)除外対象 ・学生、大学院生は原則応募不可 ・過去に本助成を受領し2年間経過していない者は応募不可(第28回以降の助成(2017年4月以降研究開始)を受けた者は対象外) ・当財団選考委員と同一研究室に所属する者は応募不可 ・主として国外で研究する場合は応募不可(ただし助成期間中の留学等については当該期間、助成期間を延長することができる)  (3)重複助成制限 ・本年(2018年1月～12月)に、同一課題で初年度分1,000万円以上の公的助成(科研費等)又は同一課題で初年度分300万円を超える他財団等からの助成金受領が決定(内定含む)した者は本助成の対象外。(複数助成の場合はそれぞれ合算) ・選考委員会後の採択内定通知時に上記重複助成の有無を確認するので、該当する場合は本研究助成受領を辞退いただくことがあります。	助成金額 1件当たり基本200万円として選考委員会が認めた場合は数件について300万円まで増額。	助成期間 2019年4月～2021年3月(2年間)
2018/6/28	2018/7/30	2018年7月 17日(火)～ 8月17日(金) ※消印有効	書類申請	地方独立行政法人 神奈川県立産業技 術総合研究所  2019年度戦略的 研究シーズ育成事 業の研究テーマ募 集について	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所 研究開発部研究支援課 研究支援グループ  TEL 044-819-2034 Email res@newkast.or.jp <a href="https://www.kanagawa-iri.jp/">https://www.kanagawa-iri.jp/</a>	対象となる研究課題  (1)研究の位置付け:目的基礎研究  (2)研究課題:下記研究分野のいずれか、またはこれらの複合領域に属する研究課題  (3)研究分野:①基礎科学・計測 ②ナノテクノロジー・材料化学 ③エレクトロニクス・情報科学 ④ライフサイエンス  (4)期待される効果:採択課題の研究推進により、成果が地域の経済的価値(新産業・新事業)の創出や地域の社会的価値(クオリティ・オブ・ライフの向上等)の創出につながる。こと。  (5)神奈川県重点研究目標:KISTECは研究活動において、県が科学技術政策大綱の中で掲げる重点研究目標を重要視しています。	提案者の要件  研究代表者となる方ご本人から提案していただきます。提案者の要件は次のとおりです。  ・自ら研究構想の発案者であるとともに、その構想を実現するためのリーダーシップを持って研究を推進する意思のある、概ね45歳以下の方。  ※ステップアップ等により研究事業が長期に渡る可能性があるため一定の年齢制限を設けています。  ・本事業及びKISTEC研究事業等を通じて、研究全体に責任を負える方。	事業予算 1テーマ 年間1,300万円(人件費等を含む)	2019年4月1日～ 2021年3月31日 (2年間)
2018/6/28	2018/7/30	2018/8/24	電子申請 Email	AMED  創薬総合支援事業 (創薬ブースター) シーズ提案につ いて	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 創薬戦略部創薬企画・評価課  Email id3info@amed.go.jp <a href="https://www.amed.go.jp/program/list/06/03/001_01-01.html">https://www.amed.go.jp/program/list/06/03/001_01-01.html</a>	創薬総合支援事業(創薬ブースター)では、創薬戦略部が策定した知財戦略、研究戦略に基づき、理化学研究所、医薬基盤・健康・栄養研究所、産業技術総合研究所等の創薬支援ネットワーク構成機関が保有する創薬技術や設備等を活用し、HTS※、構造最適化、非臨床試験等を切れ目なく支援します。  また、創薬総合支援事業(創薬ブースター)によって得られた成果については、確実に医薬品としての実用化につなげるため、創薬戦略部が製薬企業等への導出に係る支援を行います。  支援対象 大学や公的研究機関に所属する研究者が保有する、実用化の可能性が高いと判定された創薬シーズ(新標的・新物質)	支援対象 創薬戦略部が医薬品としての実用化の可能性が高いと判断した創薬シーズとする。  創薬戦略部は、学会等の公開情報、大学や公的研究機関等からの推薦、創薬ナビ等を通じて、広く創薬シーズを収集する。	支援の実施(助言等、技術支援)  経費負担 本事業に要する経費は、創薬戦略部が負担する。ただし、創薬支援ネットワーク構成機関が自ら経費を負担して支援を実施する場合、研究者が競争的資金等の助成を受けて自ら試験を実施する場合などについては、創薬戦略部は経費負担を行わない。	本事業の実施期間は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までとする。

HP掲載日	学内締切	募集期間	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
2018/6/13	2018/8/6	2018/8/1～8/24	書類申請	(公財)中島記念国際交流財団  平成31年度 ①日本人海外留学奨学生  ②日本人若手研究者研究助成金の募集	(公財)中島記念国際交流財団 〒106-6120 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー20階 私書箱179号 電話 (03)5770-8210 ファックス (03)5770-8211 ホームページアドレス: <a href="http://www.nakajimafound.or.jp">http://www.nakajimafound.or.jp</a>	①対象分野 (1) 情報科学 (2) 生命科学 (3) 経営科学  ②2 対象分野 対象分野は、次に掲げる研究分野とし、原則として一人で行う研究であって、将来の発展が期待できる研究を対象とします。  (1) 情報科学 (2) 生命科学	①応募資格 日本に在住する平成31年4月1日現在30歳以下の者で、平成31年度中(2019年4月1日から2020年3月31日まで)に留学開始し、かつ、次のいずれにも該当する者であることとします。 (1) 海外の大学(又はこれに準ずる機関)の修士号又は博士号を取得するために留学する者 (2) 学業、人物ともに優秀であって、健康である者 (3) 外国語能力について、留学先での教育研究に支障のない者 (4) 国際理解及び我が国と諸外国との友好、親善に寄与できる者  ②3 応募資格 我が国の大学・研究機関等に所属する若手研究者のうち、主として日本学術振興会の特別研究員経験者となります。 なお、若手研究者とは、平成31年4月1日現在37歳以下の研究者とします。	①奨学金の給付額 (1) 奨学金 月額20万円 (2) 支度金 50万円(往路渡航費分含む) (3) 復路航空賃 留学終了後の帰国時1回分 (4) 授業料 留学当初の2年間に限り、年間300万円以内を支給します。  ②一件当たりの助成金は、500万円以内です。総額は、7千万円以内とします。	①奨学金の給付期間 修士号取得希望者については、最長2年以内、博士号取得希望者については、最長5年以内とします。  ②(2) 助成金の使用期間は原則として年度内としますが、研究上必要がある場合は本財団に報告のうえ、翌年度を限度に使用することができます。
2018/6/13	2018/8/20	2018/6/1～9/1: 必着締切後、3週間以内に当財団から電子メールで受理通知を送ります。	書類申請	公益財団法人上原倫理財団  平成30年度研究助成	〒102-0075 東京都千代田区三番町6-3 公益財団法人上原倫理財団 研究助成係 TEL 03-3261-8711 FAX 03-3261-8747 E-mail <a href="mailto:info@rinri.or.jp">info@rinri.or.jp</a> <a href="http://www.rinri.or.jp/index.html">http://www.rinri.or.jp/index.html</a>	(1) 人間の「生命」や「生き方」、社会における「共生」に関する哲学、倫理学、教育学、心理学等、人文社会科学分野からの研究 (2) 現代の倫理的課題に関する実態研究及び調査 (3) 学校における倫理教育・道徳教育に関する研究	応募要件 (1) 日本国内外の大学・学校及びその附属研究所等の教育機関に在籍し、在籍する機関より応募の承認を得ていること (2) 概ね45歳までの研究者 (3) 学術振興会の助成等の公的助成を助成期間中・同じ研究で受けていないこと (4) 国籍は問いませんが、応募は日本語に限り1年間以上で上限60万円)	助成金額A=60万円(上限)、助成金額B=100万円(上限) また、助成受給の次年度の継続も可能です。ただし再審査が必要となります。 (継続助成は、再審査の上、決定します。A・Bの区別にかかわらず1年間で上限60万円)	助成期間は、平成31年2月1日より1年間とします。ただし、助成金額B(100万円)は2年間とすることもできます。助成金は平成31年1月中旬に支給いたします。
2018/6/13	2018/7/26	Fellowship initiation deadline: 9 August 2018 Fellowship submission deadline: 23 August 2018	web参照	国立研究開発法人日本医療研究開発機構  ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム(HFSP) Postdoctoral Fellowships 募集	The registration site for the 2019 fellowship applications will open early July 2018.  国立研究開発法人日本医療研究開発機構 国際事業部 国際連携研究課 TEL 03-6870-2215 FAX 03-6870-2240 Email <a href="mailto:international@amed.go.jp">international@amed.go.jp</a> <a href="https://www.amed.go.jp/program/list/03/01/010.html">https://www.amed.go.jp/program/list/03/01/010.html</a>	長期フェロウシップ 海外の優れた研究機関で現在の研究分野とは別の新しい研究分野へ移ることを目指す若手研究者を支援  学際的フェロウシップ 生命科学分野以外(物理学、化学、数学、工学等)の若手研究者が、さらに生命科学分野の研究経験を積むことを支援	博士号取得後3年以内	米国の場合における3年間の金額 生活手当 14万ドル 研究費1.5万ドル	3年
2018/6/13	2018/8/22	2018/6/8～9/5	電子申請 web	公益財団法人上原記念生命科学財団  研究助成・海外留学助成(第1部門～第3部門) 東洋医学、体力医学、社会医学、栄養学、薬学一般、基礎医学、臨床医学	公益財団法人上原記念生命科学財団事務局 TEL 03-3985-3500 FAX 03-3982-5613 Email <a href="mailto:mail85@ueharazaidan.or.jp">mail85@ueharazaidan.or.jp</a> <a href="http://www.ueharazaidan.or.jp">http://www.ueharazaidan.or.jp</a>	生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関連する以下の諸分野の研究 第1部門: 東洋医学、体力医学、社会医学、栄養学、薬学一般 第2部門: 基礎医学(上記以外) 第3部門: 臨床医学(上記以外)	研究助成金 年齢は問わない  研究奨励金 1981年4月1日以降出生の者、但し医学部等6年制の学部卒業者は1979年4月1日以降出生の者  リサーチフェロウシップ 1981年4月1日以降出生の者、但し医学部等6年制の学部卒業者は1979年4月1日以降出生の者、助成期間中の年収が600万円以下  ポストドクトラルフェロウシップ 1985年4月1日以降出生の者、但し医学部等6年制の学部卒業者は1983年4月1日以降出生の者、助成期間中の年収が250万円以下	研究助成金 500万円 100件 研究奨励金 200万円 110件  リサーチフェロウシップ 450万円 90件 ポストドクトラルフェロウシップ 450万円 50件	研究助成金 研究奨励金 助成金交付から2020年4月30日まで  リサーチフェロウシップ ポストドクトラルフェロウシップ 出立月(2019/1～12月)から1年間
2018/6/13	2018/8/22	2018/6/8～9/5	電子申請 web	公益財団法人上原記念生命科学財団  研究助成・海外留学助成(第4部門) 生命科学と他分野との融合領域(生命情報学、生体医学工学、生体材料学など)	公益財団法人上原記念生命科学財団事務局 TEL 03-3985-3500 FAX 03-3982-5613 Email <a href="mailto:mail85@ueharazaidan.or.jp">mail85@ueharazaidan.or.jp</a> <a href="http://www.ueharazaidan.or.jp">http://www.ueharazaidan.or.jp</a>	生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関連する以下の諸分野の研究 第4部門: 生命科学と他分野との融合領域(生命情報学、生体医学工学、生体材料学など)	研究助成金 年齢は問わない  研究奨励金 1981年4月1日以降出生の者、但し医学部等6年制の学部卒業者は1979年4月1日以降出生の者  リサーチフェロウシップ 1981年4月1日以降出生の者、但し医学部等6年制の学部卒業者は1979年4月1日以降出生の者、助成期間中の年収が600万円以下  ポストドクトラルフェロウシップ 1985年4月1日以降出生の者、但し医学部等6年制の学部卒業者は1983年4月1日以降出生の者、助成期間中の年収が250万円以下	研究助成金 500万円 100件 研究奨励金 200万円 110件  リサーチフェロウシップ 450万円 90件 ポストドクトラルフェロウシップ 450万円 50件	研究助成金 研究奨励金 助成金交付から2020年4月30日まで  リサーチフェロウシップ ポストドクトラルフェロウシップ 出立月(2019/1～12月)から1年間
2018/6/13	2018/8/20	2018/9/1	電子申請 web	SSRC(米国社会科学 研究評議会)  安倍フェロウシップ・プログラム 2018年個人研究プロジェクト公募	独立行政法人国際交流基金日米センター内 米国社会科学研究評議会(SSRC) 東京事務所 安倍フェロウシップ・プログラム 電話番号: 03-5369-6085 ファックス: 03-5369-6142 E-mail: <a href="mailto:ssrcABE@gol.com">ssrcABE@gol.com</a> <a href="http://www.abefellowship.info/">http://www.abefellowship.info/</a>	1.個人・社会・国際的な安全保障に対する脅威: 食糧、水、エネルギーの供給不安定、疫病の世界流行、気候変動、災害をめぐる準備・予防・回復、紛争・テロリズム・インターネット・セキュリティの問題など。 2.成長と持続的な発展: グローバル金融の安定性、貿易の不均衡と協定、グローバリゼーションへの適応、気候変動への対応、貧困と不平等など。 3.社会・科学・文化のトレンドと変容: 高齢化や人口変化、生殖遺伝学の利点と危険性、ジェンダーと社会的疎外、女性やマイノリティへのSTEM教育の広がり、人口移動、過疎化と都市化、仕事自動化の影響、貧困と不平等、コミュニティの回復力など。 4.ガバナンス、エンパワーメントと市民参加: 民主主義制度、参加型ガバナンス、人権、NGO/NPOの役割、新しいメディアの発展、イノベーション推進における政府の役割など。	申請資格  ・日本国籍または米国民権の保有者。 もしくはその他の国籍保有者で、日本または米国に長期にわたる研究拠点を有する者。 ・博士号(Ph.D.)もしくは当該分野での最高学位、または専門分野での同等の経験を有する者。 ・語学の習得度については資格上の要件ではありませんが、申請する調査研究の内容からして語学力が不可欠と判断されるものについては、プロジェクトを完遂させるために必要十分な語学力の証明書を提出することが求められます。 ・学界以外の専門家からの申請も歓迎します。ただし、安倍フェロウシップによる研究の成果が、その課題に関する既存の知的蓄積に寄与することが期待されています。なお、ジャーナリズムに携わっている方は「安倍ジャーナリスト・フェロウシップ募集要項」をご覧ください。 ・重要な政策課題に関する研究または具体的政策提言を意図する研究の場合、その目的や内容が党派的とみられるものは安倍フェロウシップの対象となりません。	詳細はweb参照	安倍フェロウシップは、採用の翌年4月1日から12月31日までフェロウシップを開始する必要があり、開始時点からの支給期間は3カ月以上12カ月上限とすることになっています。フェロウシップの受給期間は連続しなくても構いませんが、フェロウシップ開始後24カ月以内に研究を終了しなければなりません。

HP掲載日	学内締切	募集期間	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
2018/6/13	2018/8/2	2018/8/23	電子申請 Email	公益財団法人明治 安田厚生事業団  第35回若手研究者 のための健康科学 研究助成	公益財団法人明治安田厚生事業団 体力医学研究所 研究助成事務局  TEL 042-691-1163 FAX 042-691-5559 Email iosei@mv-zaidan.or.jp http://www.mv- zaidan.or.jp/iosej/entry/	対象: 広く健康増進に寄与する研究 課題 研究テーマ  a. 指定課題: 運動とメンタルヘルス (1件100万円 10件程度)  b. 一般課題: 健康増進に寄与する学 術研究  c. 選考委員奨励枠: 選考委員推薦に より選定	健康科学研究に従事し、修士以上の学位を有する方 (医学・歯学の学士などを含む) 40歳未満(申請時)で、所属する部署の所属長あるい は指導教官等の推薦を受けた方	総額 1,500万円 a. 指定課題: 1件につ き100万円(10件程度) b. 一般課題: 1件につ き50万円(10件程度) 選考委員奨励枠: 1件 につき30万円(3件程 度)	2018/12月贈呈式予 定  助成決定者は研究の 成果を短報形式の報 告書にまとめ、2020 年2月28日(金)必着 で提出
2018/5/29	①②③ 2018/7/17  ④ 2018/9/14	①②③ 2018/6/1~ 7/31  ④ 2018/6/1~ 9/30	①②③ 電子申請 web  ④書類申 請・電子申 請 郵送・ Email	公益財団法人中谷 医工計測技術振興 財団  平成30年度 ①技術開発研究助 成 ②特別研究助成 ③調査研究助成 ④中谷賞候補者推 薦募集	公益財団法人中谷医工計測技術振 興財団事務局  お問合せは財団ホームページの「お 問合せ」よりお願いします。電話での 問合せは受け付けていません。  URL <a href="https://www.nakatani-foundation.jp/">https://www.nakatani- foundation.jp/</a>	①②③④ 医工計測および関連技術 生体、その構成体(分子、細胞小器 官、細胞、臓器など)および薬物動態 を対象にした計測技術、情報解析技 術などに関する研究であり、医療、健 康管理、介護などに関して有用な情報 を与えるもの。【臨床への応用も含む】  ① 開発研究 独創的な発想に基づく研 究であって、実用化が期待できる技術 であるか、または、それに寄与するこ とが期待されるもの。  奨励研究 独創的な発想に基づく夢 のある研究であって、将来の実用化に 向けた基盤技術として期待されるも の。 (若手研究者の育成を目的とした助成 のため、研究責任者の年齢は、募集 締切日に35歳以下であること。)  ② 医工計測技術分野において基盤とな る開発研究を一層発展させることによ り、卓越した成果が期待でき、かつ実 用化が見込まれる研究成果の創出に 資する研究に対する助成を行います。  ③ 個人または幅広い研究者が参加して 行う技術動向等に関する調査研究	①②③ 大学およびこれに準ずる研究機関に属する者  ④ 表彰候補者資格 (表彰候補者は以下の条件を満た す研究者)  中谷賞大賞 1. 医工計測技術について優れた業績を挙げ、現在で も活発な研究活動を行っている研究者であること。 2. 表彰対象研究分野に関連する学会の会員または大 学およびこれに準ずる研究機関に属する者または属 していた者。  中谷賞奨励賞 1. 医工計測技術について独創的な研究をしているこ と。 2. 将来有望な研究者で、原則として応募締切時45歳 以下であること。 3. 表彰対象研究分野に関連する学会の会員または大 学およびこれに準ずる研究機関に属する者または属 していた者。	① 開発研究 1件最大 400万円(20件程度) 奨励研究 1件最大 200万円(20件程度)  ② 2年間で最大3,000万 円(5件程度)  ③ 2年間で最大300万円  ④ 賞金総額 1,000万円 中谷賞大賞500万円 (1件) 中谷賞奨励賞250万 円(2件)	①2019年4月から1年 間  ②2019年4月から最 大2年間  ③2019年4月から最 大2年間  ④-
2018/5/11	2018/9/14	2018/9/30	書類申請	公益財団法人木原 記念横浜生命科学 振興財団  第27回(平成30年 度)木原記念財団 学術賞	公益財団法人木原記念横浜生命科 学振興財団  TEL 045-502-4810 FAX 045-502-9810 <a href="http://kihara.or.jp">http://kihara.or.jp</a>	生命科学の分野で優れた独創的研究 に取り組み、今後の生命科学の発展 を支える研究者を励まし顕彰するこ とを目的とする。	木原記念財団学術賞推薦の対象は、生命科学分野 の50才以下(平成30年9月30日締切日現在)の国 内の研究者で、高い基礎研究レベルを持つ優れた独 創的研究であ って、すでにインパクトのある研究成果を上げつつも 今後のさらなる発展が大きく期待できる研究を行っ ている方とします。 ただし、推薦の研究課題で他の著名な賞を受けてい ないこととします。	毎年原則として1件と し、賞状及び賞金200 万円を贈呈します。	-
2018/5/11	2018/8/24	2018/9/7	書類申請 及び電子 申請	大学共同利用機関 法人自然科学研究 機構  日米科学技術協力 事業「脳研究」分野 における2019年度 各種事業の募集	自然科学研究機構岡崎統合事務セ ンター総務部国際研究協力課国際 係  TEL 0564-55-7137 FAX 0564-55-7119 Email <a href="mailto:japan-us-brcp@orion.ac.jp">japan-us-brcp@orion.ac.jp</a> <a href="http://www.nips.ac.jp/jusnou/">http://www.nips.ac.jp/ jusnou/</a>	研究分野  (1) 共同研究者派遣 (2) グループ共同研究 (3) 情報交換セミナー  脳一般に関する研究(以下に分野を 示す) ① 細胞・分子 ② 発達・可塑性・修復 ③ 行動・システム・認知 ④ 疾病の神経生物学	(1) 国・公・私立大学及び関連する研究機関において研 究に従事する若手 研究者(文部科学省科学研究費 助成事業の応募資格があり、2018年9月7日現在、 博士の学位取得後10年以内の者)(2008年9月8 日以降に学位を取得した者)又は、日本国内の大学 院博士後期課程に在籍する者  (2) 国・公・私立大学及び関連する研究機関において研 究に従事する者(科学研究費助成事業の応募資格の ある者)、分担者については学生も可。  (3) 国・公・私立大学及び関連する研究機関において研 究に従事する者(科学研究費助成事業の応募資格の ある者)	(1) 交通費・日当・宿泊料 を支給します。  (2) 日本側グループ組織 の代表者及び分担者 が米国で共同研究を 実施する際の交通費・ 日当・宿泊料を支給 します。  (3) ・日本で開催の場合 … 日本人講演者の国 内旅費及び会議費 ・米国で開催の場合 … 日本人講演者の交 通費・日当・宿泊料 上記の経費について、 2,000,000円程度を上 限として支給します。	(1) 原則として9ヶ月以内 (ただし、会計年度を 超えない期間としま す。)  (2) 2019年度から2~3 年間  (3) 2019年度(2019年 6月~2020年2月の 間に開催)
2018/5/11	2018/7/19	2018/7/2~ 8/2	電子申請	やずや 食と健康 研究所  2018年度助成研究 募集  チャレンジ部門 キャリアアップ部門	やずや 食と健康研究所事務局  TEL 092-533-1520 Email <a href="mailto:info@vazuken.jp">info@vazuken.jp</a> <a href="http://www.vazuken.jp">http://www.vazuken.jp</a>	研究テーマ 大テーマ「食と健康」 小テーマ「①食と生活習慣」、「②食育 など食の教育」、「③食と健康の歴 史」、「④その他(食と健康に関するこ と)」  さまざまな食品・食物・食生活習慣と 健康とのかわりに焦点を当てた研 究を募集する。 実際の生活の中で食品・食物・食生活 と健康との関係を、物質研究(食品中 の特定物質など)ではなく、「食べ物を 食べている人々、またその生活」に焦 点を当てたヒトを対象とした研究が望 ましい。なお、分子生物学的・化学的 テーマを主とする研究に関しては、対 象外とする。	チャレンジ部門 主な対象者 助成を受けた経験がない方 (例) 大学院生、助手、管理栄養士など 【年齢】 35歳未満(応募申込期限: 2018年8月2日時点)の研 究者、研究グループ、大学院生とし、資格・役職は問 わない。  キャリアアップ部門 主な対象者 1回以上の助成を受けた経験があり、キャリアアップ を考えている方 (例) 講師、助教、准教授など 【年齢】 45歳未満(応募申込期限: 2018年8月2日時点)の研 究者、研究グループ。  その他詳細は要項参照のこと	チャレンジ部門 最大50万円・最大2年 を上限とし、それに見 合った金額で研究計 画をたてて申請するこ と。  キャリアアップ部門 最大2年を上限とし、 (1) 50万円以下 (2) 51 ~100万円 のうち、該 当する希望助成金額 の番号 [(1)~(2)] を明 記の上、応募するこ と。	2018年12月初旬より1 年間、2年間の助成年 限より選択する。
2018/4/24	2018/9/14	2018/9/30	書類申請	公益財団法人日本 ビフィズス菌セン ター  研究奨励賞	申請書類提出先および連絡先住所  株式会社アイベック内 公益財団法人 日本ビフィズス菌センター  FAX 03-5978-4068 TEL 03-5319-2669 E-Mail <a href="mailto:ibf@ipecc-pub.co.jp">ibf@ipecc-pub.co.jp</a>  〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1- 24-12 アーバンポイント巣鴨4階  <a href="http://bifidus-fund.jp/shourej/index.shtml">http://bifidus- fund.jp/shourej/index.shtml</a>	腸内細菌に関する広い分野(腸内細菌学・ 腸管免疫学・感染防御学・プロバイオティクス・プレバ イオティクス等)において、学術上または産業上将来 の発展を期待し得る優秀な研究業績をあげた個人に 対し授与する。  奨励賞の受賞資格は、前項に規定するもののほか、 受賞年の4月1日において原則として満40歳以下とす る。	奨励賞の授与対象件 数は、原則として毎年 2件程度とし、授与年 度内に開催される腸 内細菌学会において、 賞状と副賞(10万円) を贈る。	-	

HP掲載日	学内締切	募集期間	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
2018/4/24	2018/8/27	2018/9/10	電子申請 web	農林水産省 OECD国際共同研究プログラム (CRP) 2018	お問合せ先 農林水産技術会議事務局国際研究 官室 代表:03-3502-8111(内線5902) ダイヤルイン:03-3502-7467 FAX番号:03-5511-8788  OECD国際共同研究プログラム (OECD CRP)のWebサイト(英文、下 記URL)から御応募ください。 <a href="http://www.oecd.org/tad/crp/crp-research-fellowships-and-conference-sponsorship.htm">http://www.oecd.org/tad/crp/crp-research-fellowships-and-conference-sponsorship.htm</a>	農林水産省では、OECD(経済協力開発機構)加盟国間の農林水産研究交流を促進する観点から、OECDが行う「国際共同研究プログラム(Co-operative Research Programme: CRP)」(以下、「OECD CRP」)に支援を行っています。  OECD CRPでは、参加24カ国での短期在外研究(フェローシップ)や国際会議、ワークショップ、シンポジウム等の開催(カンファレンス)への助成を行っており、応募・採択後は、フェローシップに要する旅費・滞在費、あるいはカンファレンス開催費の一部(講演者の招へい費等)が支給されます。	応募資格  博士号取得者又は相当の専門知識を持つ者で、原則として研究機関・大学等に常勤で所属する者(年齢制限なし)	フェローシップに要する旅費・滞在費、あるいはカンファレンス開催費の一部(講演者の招へい費等)が支給されます	時期 フェローシップ:2018年3月1日~12月15日の間に出発 カンファレンス:2018年中の開催
2018/4/4	2018/9/6	2018/9/20	書類申請 及び 電子申請 Web	公益財団法人井上科学振興財団 第35回井上研究奨励賞受賞候補者の推薦について(依頼)	公益財団法人井上科学振興財団 〒150-0036 東京都渋谷区南平台 町15-15南平台今井ビル601 電話:03-3477-2738 FAX :03-3477-2747 E-mail:inoue-fs*inoue-zaidan.or.jp	左記参照	2015年4月1日~2018年3月31日(2015年度~2017年度)の過去3年間に、理学・工学・医学・薬学・農学等の自然科学の基礎的研究において、新しい領域を開拓する可能性のある優れた博士論文を提出し、博士の学位を取得した研究者で、2018年9月20日現在の年齢が37歳未満の者	研究奨励賞 本賞:賞状及び銅メダル 副賞:50万円 授賞予定件数は40件	
2018/4/4	各2週間前	①②③ 2018/6/1  ④⑤ 2018/10/1  ⑥2018/6/1, 10/1  ⑦6月中旬、9月中旬, 12月中旬, 3月上旬	書類申請 及び電子 申請	公益財団法人内藤記念科学振興財団 2018年度助成金募集  ①研究助成 ②若手ステップアップ研究助成 ③女性研究者研究助成金 ④次世代育成支援研究助成金 ⑤海外研究留学助成金 ⑥海外学者招聘助成金 ⑦講演助成金	公益財団法人内藤記念科学振興財団 〒113-0033 東京都文京区本郷3-42-6 NKDビル8階  TEL 03-3813-3861 FAX 03-3811-2917 URL <a href="https://www.naito-f.or.jp/">https://www.naito-f.or.jp/</a> E-mail <a href="mailto:joseikin@naito-f.or.jp">joseikin@naito-f.or.jp</a>	①人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組んでいる研究者(年齢制限は無い) ②日本の研究機関に所属する研究者であること(ただし、国籍は問わない) ③当財団の選考委員と同一の教室(講座)に所属する者は申請することができない。 ④本助成金を受領した3年未満の研究者(2015~2017年度の受領者)は、申請することができない。 ⑤海外で行う研究は対象外とする。 ⑥内藤記念女性研究者研究助成金及び内藤記念科学奨励賞・若手ステップアップ研究助成、内藤記念次世代育成支援研究助成金、内藤記念海外研究留学助成金を受領している者あるいは今年度申請した者は同時に申請することはできない。  ⑦日本国内で開催される国際会議について開催にかかる費用の一部を助成します。当財団の理事・監事および評議員または当財団の指定した学会代表者の推薦が必要となります。	①1.人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組んでいる若手研究者であること、 2.日本の研究機関に所属する研究者であること(ただし、国籍は問わない)、 3.過去の内藤記念科学奨励賞・研究助成の受領者であり、当助成金申請時に報告書を提出済みであること。但し、2017年度内藤記念科学奨励賞・研究助成の採択者は申請対象外とする。 4.申請締切時点で博士号取得10年以内の研究者であること。 5.内藤記念科学奨励賞・研究助成申請時のテーマ、あるいはそれから派生したテーマに基づく申請であること。 6.当財団の選考委員と同一の教室(講座)に所属する者であっても、申請することができる。 7.海外で行う研究は対象外とする。 8.申請時及び助成期間中に、内藤記念科学奨励賞・研究助成、内藤記念次世代育成支援研究助成金、内藤記念女性研究者研究助成金、内藤記念海外研究留学助成金、いずれも申請する事はできない。  ③以降は要項参照のこと	①300万円 ②3年間で総額1000万円 ③年間200万円を3年間 ④年間200万円を3年間 ⑤450万円 ⑥エリアにより異なる20万円~80万円 要項参照 ⑦1件50万円	報告書提出時期等については要項参照のこと
2018/4/4	2018/7/27	2018/6/1~ 8/10	書類申請	一般社団法人ヤンマー資源循環支援機構 2019年度助成事業募集	一般社団法人ヤンマー資源循環支援機構 事務局 〒530-0014 大阪市北区鶴野町1番9号 梅田ゲートタワー TEL: 06-7636-2983 E-mail: <a href="mailto:shigeniunkan@yanmar.com">shigeniunkan@yanmar.com</a> <a href="https://www.yanmar.com/jp/shigeniunkan/application/index.html">https://www.yanmar.com/jp/shigeniunkan/application/index.html</a>	農林水産省の振興及び資源循環型社会の実現に資する基礎研究、技術開発、実証等に対して支援します。 (1)資源循環型の持続可能な農林水産業に貢献する取組み (2)農林水産資源の利活用	研究者の方の年齢制限はありません。学生からの申請も歓迎します。	一般公募助成 1件(一団体)あたり助成金は200万円を上限とする 学生公募助成 1件(一団体)あたり助成金は20万円~50万円  総額2,500万円を予定しています。	2019/4/3
2018/4/4	各2週間前	①2018/6/1~ 8/31  ②2018/7/1~ 8/9  ③2018/7/1~ 8/9  ④2018/7/1~ 8/9	電子申請 Web	公益財団法人発酵研究所 2019年度研究助成の募集  ①寄付講座助成 ②一般研究助成 ③大型研究助成 ④若手研究者助成	公益財団法人発酵研究所  <a href="http://www.ifo.or.jp/">http://www.ifo.or.jp/</a>	①大きなビジョン、明確な目標があり、独創的でチャレンジングな研究 微生物学全般 研究を通じて、若手研究者を育成する。  ②研究課題 ・微生物の分類に関する研究 分離、分類、保存、生態、進化 など ・微生物の応用に関する研究 発酵、生理・生化学、生理活性物質、プロバイオティクス など ・微生物の環境に関する研究 環境浄化、バイオマス変換、バイオエネルギー、バイオプラスチックなど  ③ ・微生物の分類に関する研究 分離、分類、保存、生態、進化 など ・微生物の応用に関する研究 発酵、生理・生化学、生理活性物質、プロバイオティクス など ・微生物の環境に関する研究 環境浄化、バイオマス変換、バイオエネルギー、バイオプラスチックなど  ④ 微生物(細菌、アーキア、菌類、微細藻類)の分類に関する研究 分離、分類、保存、生態、進化 など	①【応募資格】 ・日本の国立大学、公立大学、私立大学のいずれかに属する部局(研究科、学部または研究所)  ②・日本の研究機関に所属し、前項に掲げた研究を行っている個人 ・助成期間内に、本申請に関する研究で他から年間500万円以上の助成金・研究費を受けることが確定している場合は除く。  ③・日本の研究機関に所属し、前項に掲げた研究を行っている個人 ・助成期間内に、本申請に関する研究で他から年間500万円以上の助成金・研究費を受けることが確定している場合は除く。  ④・平成31年4月1日現在、ポスドクとして日本の研究機関で前項に掲げた研究を行う日本人の研究者 ・平成31年4月1日現在、満40才以下の者 ・助成期間内に、当財団以外から生活費の助成を受けない者	①2億5千万円 ②300万円 ③1000万円 ④500万円	①5.5年間 2019/10-2025/3 ②2年間 ③2年間 ④3年間